



チームカラーの紫で染まる会場

心を一つに、 J1目指して 勝ち進め!

～京都サンガF.C. 亀岡市応援デー～

7月27日、西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場(京都市右京区)で行われた京都サンガF.C.ホームゲーム(FC岐阜戦)において、「亀岡市応援デー」を開催しました。

試合に向けて市役所から無料の応援バスが出たほか、会場では先着1万人限定でオリジナルTシャツが配られ、応援に駆けつけた市民の皆さんやサポーターが場内をチームカラーの紫色で染めました。試合前には桂川市長がサポーター席で「来年の府立京都スタジアム完成に合わせて、J1に昇格できることを願って、みんなで気持ちの一つにして応援しましょう」と声援の音頭を取り、観客席を活気づけました。

また、競技場外のフレンズスクエアでは、亀岡の特産品販売など本市のPRブースと大河ドラマPRブースも出展。亀岡の魅力を発信しました。

試合は、小雨の降る中で白熱した展開に。2対1でサンガが見事に競り勝ち、スタンドは大いに沸き上がりました。



亀岡の魅力が詰まったPRブース



大会前に意気込む選手たち

千代川小学校が健闘 交通安全子供自転車全国大会出場

8月7日、東京ビッグサイトにおいて「第54回交通安全子供自転車全国大会」が開催されました。京都府代表として出場した千代川小学校6年生の橋本侑徒くん、河野翔太くん、河野隆太くん、片山晴輝くんが団体の部で47チーム中17位という成績を収めました。

本大会は、児童の皆さんに自転車競技を通じて安全走行に対する知識と技能を身に付けてもらうとともに、交通安全に対する興味と関心を高め、交通事故防止につなげることを目的としています。



集中して頑張りました

京都府代表としての同小学校的全国大会出場は、今回で15年連続。選手の間は、昨年9月のチーム結末まででした!



ラッピングタクシーが亀岡市内を走ります

光秀公が、動いて話して亀岡をPR! 戦国VTuber 明智光秀・見参!

このほど、大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を前に亀岡をさらに盛り上げようと、明智光秀公をイメージしたキャラクター「戦国VTuber 明智光秀」が誕生しました。VTuberとは、「バーチャル」なYouTubeのことで、CGを用いたキャラクターがYouTubeなどを通じて情報配信するというもの。

7月30日には、「光秀公のまち亀岡PR特別大使」として就任発表が行われました。その際には、戦国VTuber 明智光秀が実際にあいさつを行い、「現在の亀岡には、魅力的な観光資源がたくさんあります! その魅力をVTuberの力を存分に発揮していきます。ともに天下を目指しましょう!」と力強く抱負を語りました。



戦国VTuberプロジェクト

その後、彼のデザインがラッピングされたタクシーの出発式を実施。京都タクシー株式会社との協力で、2台の光秀タクシーがお披露目されました。これからSNSやイベント出演などで亀岡を応援する光秀公に、ぜひご注目ください!

その後、彼のデザインがラッピングされたタクシーの出発式を実施。京都タクシー株式会社との協力で、2台の光秀タクシーがお披露目されました。これからSNSやイベント出演などで亀岡を応援する光秀公に、ぜひご注目ください!



▲特設ページ
▲YouTube

第四百四回 明智光秀 文化財めぐり ⑦

明智光秀の協力者 野々口西蔵坊

明智光秀の丹波攻めに際して、丹波国内では光秀に協力した人々もいました。そのひとりが野々口西蔵坊という人物で、宮前町にある金輪寺の山伏であったといわれ、織田信長の事績を記した『経見記』には「本目ノ山伏」と記されています。

西蔵坊は、丹波攻めに際して光秀の指令を現地へ伝える役割や、木材を河原尻村から保津川端に運搬するなど、光秀の丹波攻略や統治に積極的に関わっていました。また、信長の家臣の村井貞勝が京都四條大橋の橋柱を「西蔵坊之山」から運搬するように小島左馬進へ命令していることから、西蔵坊は丹波で山林を管理していたことが推測でき、山伏であったということからその地域を掌握していたのかもしれない。

東本梅町の楽音寺に伝わる薬師如来坐像の像底・光背裏には「丹波国船井郡醫王山楽音寺御本尊七条大佛師宮内卿法印康清作、右施主者野々口西蔵坊豪淵」と墨書されており、この像が西蔵坊の依頼で作られたことがわかります。作者の康清は、羽柴秀吉が大徳寺総見院に奉納した信長像を制作するなど、当時の有力な京仏師のひとりであり、西蔵坊はこのような人物とも繋がっていたのでした。

【典拠】「小島文書」(天正6年)11月15日付、明智光秀書状
「小島文書」年未詳7月4日付、明智光秀書状
「谷森建男氏所蔵文書」年未詳9月3日付、村井貞勝書状

▲金輪寺(宮前町宮川)